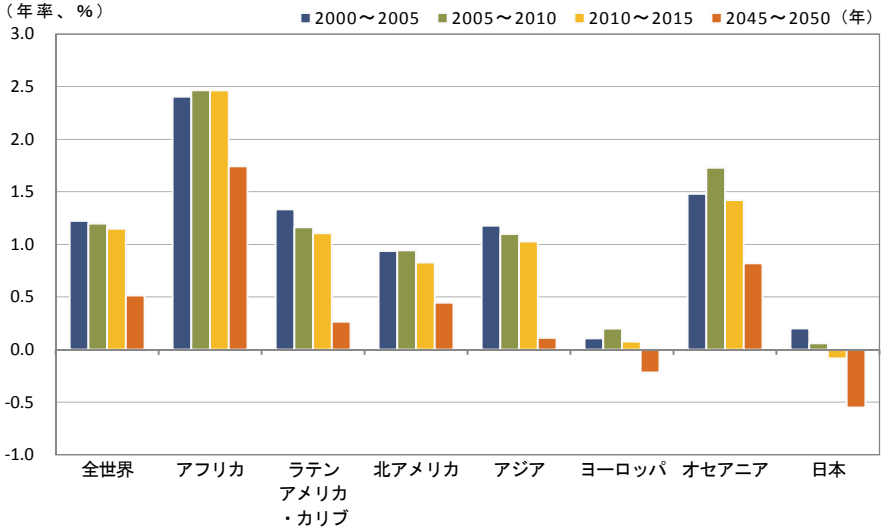


2 人口・労働力人口

2-2 人口増加率



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第2-2表 人口増加率」(p.56)を参照。

国連の『2012年版世界人口予測』によると、全世界の人口は、2005年の65億人から2010年に69億人、2025年に81億人、2050年には96億人に達し、2010年からの40年間に約27億人増加すると予測(中位推計)されている。

世界の人口増加率は寿命の伸長に伴って上昇し、1965～1970年には年率2.07%のピークに達した。その後、人口増加の速度は、主に先進地域における出生率の低下によって減速した。2005～2010年は1.20%に低下し、2045～2050年には0.51%まで落ち込むと予測されている。

上のグラフをみると、ヨーロッパ地域及び日本の2005～2010年の人口増加率はそれぞれ0.2%、0.06%の低水準となっており、その後も徐々に減少して、2045～2050年にはそれぞれ-0.22%、-0.55%に低下する見通しである。他方、アジア地域及びラテンアメリカ・カリブ地域の増加率は低下するものの、2015年までは1%程度で推移する予測となっている。しかし、これらの地域の少子化のスピードが先進地域よりも急速であることから、2045～2050年までに増加率はそれぞれ0.11%、0.27%に低下すると予測される。今後2050年までの間の人口増加率が最も高い地域はアフリカ地域で、2025年までは年率2%、2045年以降も年率1%を上回る水準で推移する見通しである。